

# デゾレート<sup>®</sup>A (水溶剤)

■種類名：塩素酸塩水溶剤  
 ■有効成分：塩素酸ナトリウム----- 60.0%  
 ■化管法指定物質：塩素酸並びにそのカリウム塩及びナトリウム塩 [第1種] --- 60.0%

■登録番号：第9024号(日本カーリット登録)  
 ■毒性：医薬用外劇物  
 ■登録初年：1968.06.25  
 ■性状：類白色水溶性粗粉 106 μm以下  
 ■有効年限：5年  
 ■包装：1kg×20袋  
 ■危険物：塩素酸塩類含有物 第二種酸化性固体危険等級II、火気・衝撃注意、可燃物接触注意、塩素酸ナトリウム

## 【特長】

- 非選択性の接触型除草剤でササ、ススキなど難防除雑草に極めて高い効果を示す。
- 速効性があり、短期間で雑草防除ができる。
- 水田刈跡処理により、次年度の耕起作業を軽減できる。

## 【適用内容】(2024年11月末日現在)

作物名	適用場所	適用雑草名	使用時期	使用量		本剤の使用回数	使用方法	塩素酸塩を含む農薬の総使用回数
				薬量 (kg/10a)	希釈水量			
まつからまつとどまつえぞまつ	地ごしらえ	一年生雑草 多年生広葉雑草	雑草生育期	7.5~12.5	200~300 %/10a	—	雑草茎葉散布	—
		多年生イネ科雑草		12.5~15				
すぎひのき	地ごしらえ 下刈り	一年生雑草 多年生広葉雑草		7.5~12.5				
		多年生イネ科雑草		12.5~15				
開墾後に栽培する農作物等	開墾地	一年生雑草 多年生広葉雑草		7.5~12.5				
		多年生イネ科雑草		12.5~15				
果樹類	果樹園	一年生雑草 多年生広葉雑草	7.5~12.5					
		多年生イネ科雑草	12.5~15					
桑	桑園	一年生雑草 多年生広葉雑草	雑草生育期	7.5~12.5				
		多年生イネ科雑草	(晩秋期)	12.5~15				
水田作物 (水田畦畔)	水田畦畔			7.5~15	100~200 %/10a			
樹木等	公園 堤とう 駐車場 道路 運動場 宅地 のり面等	一年生雑草 多年生雑草	雑草生育期	10~25	200~300 %/10a	3回以内	植栽地を除く樹木等の周辺地に雑草茎葉散布	3回以内
移植水稻 直播水稻	刈取跡	マツバイ	刈取後 10日以内	10~13	80~100 %/10a	—	雑草茎葉散布	—
		ミズガヤツリ	刈取後 ~ミヅガヤツリの塊茎形成前まで	13				

## 【効果・薬害等の注意】

- 使用量に合わせ薬液を調製し、使いきること。
- 本剤の所定量を所要量の水に加え、金属かプラスチックの棒で良く攪拌して溶解すること。
- 本剤使用の際は、展着剤を加用すると効果的である。
- 使用器具、雑草の成長度等の条件により、使用薬量及び希釈水量は所定の範囲内で増減し使用すること。
- 本剤は雑草の種子には効果がないのでなるべく結実前に散布し、再生したら再散布すること。
- 本剤の散布直後に石灰又は木灰を施用すると本剤の効果が低下することがあるので注意すること。
- 降雨時の散布または降雨の予想される時の散布は、効果を減らすので散布を見合わせること。
- チガヤには効果が劣るので、再生した場合再散布すること。
- 本剤を水稻刈取跡のマツバイおよびミズガヤツリ防除に使用する場合は次の事項に注意すること。
  - ◆ 本剤は生育期間中のマツバイおよびミズガヤツリに有効なので、マツバイおよびミズガヤツリの枯葉出現前に処理すること。
  - ◆ ミズガヤツリを水稻とともに刈取るところでは、ミズガヤツリの再生後なるべく早く散布すること。
  - ◆ ミズガヤツリ防除に使用する場合、ミズガヤツリの塊茎形成後では効果が劣るので刈取り後が塊茎形成前になる地帯でだけ使用すること。従って処理後地下茎から発生する地帯では使用をさけること。
  - ◆ 本剤は排水良好な一毛作田で使用し、散布前に落水し、マツバイおよびミズガヤツリを露出させてから茎葉に均一に散布すること。
  - ◆ 本剤の連年使用はなるべくさけること。
- 本剤を地ごしらえ、果樹園、桑園、開こん地などの除草に使用する場合は次の事項に注意すること。
  - ◆ 散布前には雑草木の葉を刈りこまないこと。
  - ◆ 果樹園及び下刈りの場合は、果樹及び林木の葉や小枝や根元に薬液がかからない様に風向きなどに十分注意すること。
  - ◆ 桑は、果樹に比べて本剤に弱いので夏季の散布をさけ養蚕の終わった晩秋に散布すること。
  - ◆ 下刈りに使用する場合、植付当年の使用はしないこと。
- 畦畔雑草防除を目的として使用する場合、のり面の散布はさけること。又流入、飛散等による薬害に注意すること。
- 植栽地を除く樹木等の周辺地で使用する場合は、薬剤が樹木等の植栽地に流入または飛散するおそれのある場所等では使用しないこと。また、樹木等有用植物の根が分布していると思われるところでは使用をさけること。
- 蚕に対して影響があるので、周辺の桑葉にはかからないようにすること。
- 本剤散布地を農耕地に利用する場合は、散布後3ヵ月以上経過してから播種または植付けすること。
- 散布薬液の飛散によって自動車やカラートタンの塗装等へ影響を与えないよう散布地域の選定に注意し、散布区域内の諸物件に十分留意すること。
- 本剤は難燃性になっており火災の危険は少ないが、使用器具は木製など可燃性のものはさけ、使用後は水洗いをしてよく乾かすこと。
- 散布器具の洗浄水は河川等に流さず、環境に影響を与えないよう適切に処理すること。
- 水源池等に本剤が飛散・流入しないよう十分に注意すること。
- 本剤の使用に当たっては、使用量、使用時期、使用方法を誤らないように注意し、とくに初めて使用する場合には病虫害防除所等関係機関の指導を受けることが望ましい。

## 【安全使用上の注意】

- ❖ 医薬用外劇物。取扱いには十分注意すること。誤って飲み込んだ場合には吐き出させ、直ちに医師の手当を受けること。本剤使用中に身体に異常を感じた場合には直ちに医師の手当を受けること。
- ❖ 本剤は眼に対して刺激性があるので眼に入らないよう注意すること。眼に入った場合は直ちに水洗し、眼科医の手当を受けること。
- ❖ 散布の際は防護マスク、手袋、不浸透性防除衣などを着用すること。作業後は手足、顔などを石けんでよく洗うがいをするとともに洗眼すること。
- ❖ 薬剤が浸み込んで乾いた衣服や地下足袋などは着火して火傷をおこし易いので、火気には注意すること。着火の際は水をかけて消すこと。作業終了後、薬剤の付着した衣類、地下足袋等をよく水で洗っておくこと。
- ❖ 公園、堤とう等で使用する場合は、散布中及び散布後(少なくとも散布当日)に小児や散布に関係のない者が散布区域に立ち入らないよう縄囲いや立札を立てるなど配慮し、人畜等に被害を及ぼさないよう注意を払うこと。
- ❖ 本剤は家畜が好んで食べて中毒を起こすことがあるので、保管に注意し、また散布直後の散布地域への家畜の放飼は行わないこと。
- ❖ 使用残りの薬剤は必ず鍵のかかる安全な場所に保管すること。
- ❖ 危険物第一類に属するので、火気、衝撃および可燃物に接触しないように注意すること。
- ❖ 保管：可燃物との同一保管はさけ、直射日光の当たらない鍵のかかる低温で乾燥した場所に密封して保管すること。